

【特別支援学校用】

令和2年度学校評価 計画

達成度（評価）  
**A**：十分達成できている  
**B**：おおむね達成できている  
**C**：やや不十分である  
**D**：不十分である

様式1（特別支援学校）

学校名 佐賀県立唐津特別支援学校好学舎分校

1 前年度 評価結果の概要  
 ◇すべての領域・項目において、目標に挙げていた内容については達成できた。  
 ◇まだまだ、学校づくりの途中であるので、項目全般でさらなる向上を目指して取り組んでいきたいと考える。

2 学校教育目標  
 児童生徒一人一人に応じた教育活動を通して、子どもたちの持つ可能性をできる限り広げ、校訓にうたっている「明るく元気に生きる力」「心豊かに生活する力」「たくましく自立し社会に参加する力」をはぐくむとともに、他人を思いやることのできる児童生徒を育成する。

3 本年度の重点目標  
 ① 児童生徒の自立と社会参加を目指した教育活動の推進に努める。 ② 新学習指導要領を踏まえたうえで、児童生徒のこれまでの成育歴、特性に配慮しながら、教職員が教育目標、教育活動について意思統一を図る。  
 ③ 分校に通う児童生徒についての指導、支援について、専門性の向上を図る。 ④ 児童心理治療施設「好学舎」や関係機関と連携し、支援体制の確立を図り、学校運営を円滑に遂行する。  
 ⑤ 業務および組織の見直しを常に行いつつ、働き方改革の推進に努める。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●学習に取り組む態度の育成 ●児童生徒一人一人の現状や特性に応じた指導・支援による学力の定着	○授業への取り組みが向上した(理解度、授業を受ける態度など)と感じられる児童生徒70%以上 ○テストの成績が向上した児童生徒70%以上 ○家庭学習の定着:課題を確実にこなし、提出する児童生徒70%以上	・児童生徒の実情に応じて取り組みやすい授業(活動時間を調整したり、学習内容を変更したり)して行う。 ・学習環境や学習形態などを工夫する。(電子黒板やタブレット端末等のICT機器を効果的に使用したり、一斉授業ばかりでなく、個別に対応する時間を設けたりする。) ・負担が少なく、取り組みやすい課題を提供する。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○生活態度が向上したと思われる児童生徒60%以上 ○自立活動の時間などに、自分自身を振り返ったり、思いを適切に話せるようになったりした児童生徒60%以上 ○友達や、教師との接し方が変容した児童生徒50%以上	・児童生徒へ授業等での一方的な伝達だけでなく、学校生活の様々な場面面で、教師が手本となって態度で示す。 ・児童生徒の思いを引き出すような問いかけや話し方、関わり方を行う。							学部主事 教育相談担当 担任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの問題への対応で、トラブルや問題を見逃さずに対応したと思う職員85パーセント以上	・いじめに関する話題を学期に1回以上取り上げて、職員へ周知を図る。 ・学校生活での児童生徒の様子を細かく見取り、異状を感じたら情報を収集し、速やかに校内・好学舎等、関係者で共有し対応を行う。							教頭 生徒指導主事 学部主事 教育相談担当 担任
	○児童生徒が夢や希望を持ち、将来の自立と社会参加に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「児童生徒の希望や状況等に応じたキャリア教育及び職業教育ができていく」と回答する施設職員50%以上	・個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成において本人や保護者の希望やニーズを的確に把握し反映させる。 ・自立活動や学級活動の時間において、本人の将来の夢や進路希望などを聞き取ったり、将来をどのように考えていくか導いたりしながら見直しをもたせていく。 ・キャリア教育を意識した教育活動を提供する。 ・中学部における進路指導の充実を図る。(職場体験、見学、高校説明会等の実施)							教務主任 学部主事 進路指導主事 担任
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○一人一人の登校率90%(特段の理由のない欠席を10%以下に抑える。) ○遅刻しないで登校できた日80%以上	・リズムよい、メリハリのある学校生活を提供する。 ・学校を嫌がらない環境づくりや授業設定をする。 ・登校のモチベーションをあげるため関わり方を工夫する。							学部主事 生徒指導主事 養護助教諭 担任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●会議や研修時間の厳守、勤務時間を超えない設定	・毎週金曜日を定時退勤日に設定する。 ・時間外勤務の軽減のために学校行事等の内容や取組みを見直す。 ・学校閉庁日を4日間設定する。							教頭 教務主任

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○関係機関との連携の推進	○児童相談所や関係校、好学舎との連携強化、充実	○児童相談所との情報共有のケース会等の1回以上の開催 ○転出入時の引継ぎ会の開催100%	・好学舎との細やかな情報交換、情報共有を行う。 ・児童相談所への連携強化のための啓発を行う。(ケース会開催の依頼) ・前籍校との引継ぎ会を充実させる。			

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望